

# やもちゅうだより



第8号

～素敵に Communication (コミュニケーション) 自分が輝く みんなも輝く 谷本中学校～

## 迎春

～ 平和な世界を誓いましょう ～ (ちょっと重いですが)

校長 諏訪部 真史



今年のお正月も穏やかな日でした。皆さんも新たな気持ちで新年を迎えられたことと思います。「今日は、寒いですね」が最近の挨拶です。やはり春まではもう少しかかりそうですね。でも日本の良さは「四季のあること」と考えると、それも素直に受け止め、春の訪れを楽しみに待ちましょう。

さて、今年新年早々に、「フランシスコ・ローマ法王は、原爆投下後の長崎で撮影された「焼き場に立つ少年」の写真をカードに印刷し、「戦争が生み出したもの」との言葉を付けて広めるよう指示した。ローマ法王庁(バチカン)が1日までに発表した。法王はこれまでも核兵器廃絶を呼び掛けており、改めて平和を訴えた。」

とニュースになりました。

私たち、谷本中学校でも平成28年度までの長崎修学旅行でこの写真を見てきました。

以下、当時のしおりからの抜粋です。

原爆が落とされてまもなくの1945年9月、廃墟の長崎で米空爆調査団のカメラマンとして日本を訪れた、ジョー・オダネル軍曹が撮ったものです。以下は、回想インタビューからの抜粋です。

「佐世保から長崎に入った私は、小高い丘の上から下を眺めていました。すると白いマスクをかけた男達が目に入りました。男達は60センチ程の深さにえぐった穴のそばで作業をしていました。荷車に山積みにした死体を石灰の燃える穴の中に次々と入れていたのです。

10歳ぐらいの少年が歩いてくるのが目に留まりました。おんぶひもをたすきにかけて、幼子を背中に背負っています。重大な目的を持ってこの焼き場にやってきたという強い意志が感じられました。しかも裸足です。少年は焼き場のふちまで来ると、硬い表情で目を凝らして立ち尽くしています。背中の赤ん坊はぐっすり眠っているのか、首を後ろにのけぞらせたままです。

少年は焼き場のふちに、5分か10分も立っていたでしょうか。白いマスクの男達がおもむろに近づき、ゆっくりとおんぶひもを解き始めました。この時私は、背中の幼子が既に死んでいる事に初めて気付いたのです。男達は幼子の手と足を持つとゆっくりと葬るように、焼き場の熱い灰の上に横たえました。まばゆい程の炎がさっと舞い立ちました。真っ赤な夕日のような炎は、直立不動の少年のまだあどけない頬を赤く照らしました。

その時です、炎を食い入るよう見つめる少年の唇に血がにじんでいるのに気が付いたのは。少年があまりきつく噛み締めている為、唇の血は流れる事もなく、ただ少年の下唇に赤くにじんでいました。夕日のような炎が静まると、少年はくるりときびすを返し、沈黙のまま焼き場を去っていききました」

今年も平和を誓いましょう……

# 谷本中学校 キャリア教育学習

## 1年生 出前授業

1月23日(火)

1月23日(火)に、1年生を対象とした出前授業が行われました。消防署、警察署、幼稚園、病院、専門学校、研究所、各種企業から講師の先生方にご協力いただき、「働く」ということに授業をしてもらいました。講師の先生方の話は興味深く、一人ひとりが真剣に話を聞くことができました。中には、実験や実演を交えた講座もあり、楽しみながら体験することができました。その職業について感じていたイメージと大きく違った部分もあり、生徒からたくさん質問も出ました。1年生の出前授業が自分の将来について考えるきっかけになればと思います。



調理学校の先生



あざみ野駅 駅員の方々



J Tの方々

## 2年生 職場体験

1月23日(火)

悪天候で実施そのものが危ぶまれた職場体験学習ですが、事業所の皆様のととも前向きな協力もあり、実施することができました。朝から臨機応変な対応を迫られたグループもありましたが、おおむね適切に判断ができて予定通りの職場体験をすることができました。

月曜日の直前の学年集会でもお話しましたが、実際に将来、自分が就職してこのような天候になったときにどうするか、ということも含めて生徒たちにとっては朝から緊張したのではないのでしょうか。鉄道やバスに乗る必要があった人は、運行情報をどのようにして確かめれば良いのか、色々考えたのではないのでしょうか。スマートフォンで情報を集めた人もいるかもしれませんが、テレビのデータ放送で情報を集めた人もいないかもしれません。

そのようなことも含め、社会人として責任を持って仕事を行うことがどのようなことか、ということについてよい勉強になったのではないのでしょうか。最近では非常時・災害時の働き方について大人の社会では議論になったりもしています。働き方については多くの議論があります。しかし、責任をもって自分の仕事は全うしなければならないのは変わらないと思います。また、責任を全うしてお客さんに喜んでもらった時に達成感や充実した感じを味わうことができるのも仕事の良さです。

今回、みなさんが学んだことを次につなげていけるといいですね。





# 地域防災拠点「防災」訓練

1月21日(日) 谷本中・藤が丘小

谷本中学校地域防災拠点と藤が丘小学校地域防災拠点の防災訓練が同日に実施されました。谷本中学校の生徒もボランティアとして20~40名が参加し、会場準備や受付、体験コーナーへの参加などを地域の担当者と一緒に活動しました。

参加した生徒たちからは、「人に説明するのが難しかった。でもコミュニケーション能力が身についた」(災害伝言ダイヤルの利用方法担当)「準備が大変だったが、そのあといろいろな体験ができて、話がきけて良かった」(会場準備担当)「少し恥ずかしかったが、いい経験になった。実際に災害にあったときにも手伝いをしたい」(受付担当)

実際に日中に災害にあった際には、地域に残っていて頼りになるのは中学生です。第一に「自分の身は自分で守る」そして「自分の地域は自分たちで守る」という意識をもっていきたいと思います。

炊き出し



緊急救助資材の取り扱い



災害伝言ダイヤル



AED 体験



ランタン充電



減災まち歩きとマップ作成



大なべによる炊き出し



非常無線活動



防災備品・備蓄品の紹介・販売



本校では1月19日(金)6校時に授業中に巨大地震が起きた場合を想定した避難訓練を実施しました。避難最中に余震が起こる、行方不明者やけが人が発生するなどの事態にも対応する訓練も実施しましたが、生徒のみなさんは落ち着いて速やかに避難することができました。

地域と共に日頃から防災に対する意識を高めておくことの大切さを学びました。

## 平成29年度 谷本中学校書初め大会



今年も冬休みの課題として、全校生徒が書き初めに取り組みました。1年生は「天地清心」「新たな決意」、2年生は「夢を信じる」「功を奏する」、3年生は「友好の精神」「新春に誓う」から1つ題材を選び、思いを込めて書きました。そして国語科の先生方により金、銀、銅の各賞が選定されました。

金賞受賞者

- |    |    |        |          |
|----|----|--------|----------|
| 1年 | 2組 | 安江 周太郎 |          |
| 2年 | 3組 | 南 萌恵   |          |
| 3年 | 4組 | 粕谷 亜理紗 | 6組 別所 結実 |

1月30日（火）、授業参観・進路説明会の日まで職員室前廊下に展示しています。教室にも生徒の作品が展示されています。

### 表彰

<横浜市立中学校作文コンクール>

佳作 加来 翔太（3年：意見・主張） 佳作 加藤 菜々美（3年・俳句）  
優秀 馬杉 心優（2年・俳句） 佳作 志村 祐亮（2年：俳句）  
佳作 太田 凧咲（1年・詩）

<社会を明るくする標語>

最優秀賞	鈴木 梨乃（3年）	思いやり 人が心を ひらく鍵
優秀賞	高川 耀（3年）	思いやる やさしい心で 花咲かせ
	井貝 葵（3年）	あいさつで 華やぐ笑顔 照らし出せ
	幾世永有沙（2年）	支えあい つながる気持ち 心の輪
	浅井 那月（2年）	手をつなぎ 地域の人と 助け合う
	松井 優里（1年）	やさしさと あいさつあふれる 僕の街



### 2月の予定

詳しくは学年便りをご覧ください

- ・ 6日（火）百人一首大会（1，2年）
- ・ 8日（木）新入生保護者説明会（体育着販売）・個別級区合同お別れ会
- ・ 14日（水）公立高校共通選抜開始
- ・ 14日（水）～16日（金）学年末テスト（1，2年）
- ・ 22日（木）3年学年末テスト
- ・ 22日（木）～23日（金）市学力学習状況調査（1，2年）
- ・ 23日（金）卒業遠足（3年）